

未承認新規医薬品等評価委員会で承認された医療

当院の未承認新規医薬品等評価委員会にて、下記の医療が承認されました。対象者となられる方から同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開することにより投薬を実施しております。なお、本件について同意できない場合、あなた自身への日常の診療における不利益は一切ございません。この内容に関して拒否される場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

記

医療の内容	COVID-19 ARDS に対する低用量リドカイン持続投与
承認者	昭和大学病院 病院長 相良 博典
承認日	2020 年 7 月 16 日
対象者	当院で治療を受ける患者で、ICU 入室となった COVID-19 陽性の肺炎患者
対象期間	承認後から永続的に使用
概要	【目的・意義】 COVID-19 肺炎の炎症に対して、P2X7 細胞外 ATP 阻害剤であるリドカインを低用量持続投与することで、炎症を改善できる可能性があります。Continuous low dose parenteral Lidocaine for treatment of ARDS in COVID-19 patients (Version 8b, March 27, 2020) に準じて、リドカイン 0.6mg/kg/hr 持続静注又は 1mg/kg/hr 持続皮下注を実施します。投与にあたり目標血中濃度を決め、適宜リドカインの血中濃度を測定します。血中濃度測定は投与 2 日目および 3 日目、以降 1 週間に 1 回実施します。 【想定される不利益と対策】 リドカイン自体は既に多くの患者さんに使用されています。一方、これまでに報告されている主な副作用や合併症として薬剤過敏症反応、不整脈、意識障害、振戦、痙攣、悪性高熱、また中枢神経症状としてせん妄、めまい、眠気、多幸感等がいずれも頻度不明で報告されています。また、記載した症状以外の副作用や合併症がでることもあります。これらの副作用や合併症に迅速に対応するため、身体に起こることを注意深く診察します。もしも、この治療期間中に普段と違った症状がありましたら、適切な処置または治療を行いますので担当医師に申し出てください。また、治療期間中に臨床検査値の悪化や副作用のために担当医師が中止する必要があると判断した場合は、この治療は直ちに中止されます。なお、何か新たな安全性の情報などが分かった場合はすぐにお知らせし、治療を続けるかどうかについて確認をいたします。
お問い合わせ先	昭和大学病院 クオリティマネジメント課 代表 03-3784-8000

以上